合唱祭

舞台を佐藤記念講堂に移し合唱祭と名称を変えて今年度で（平成十八年二月十六日予定）第七回目となります。

今年から高一生もクラス単位で参加することになり、中一～高一までの四学年の行事となります。中一は見習い学年ということで二グループに分かれて「ホールに声を響きわたらせる」を目標とし中二・中三・高一は自分たちで選曲して発表します。

高一は中学時に身につけた経験を生かし授業を離れて準備します。どのような成果がでるか非常に楽しみでもあります。コンクール形式の合唱祭ですので、日が近づいてくるとどのクラスも練習に熱が入ります。

各クラス四名の運営委員が準備から当日の運営まで中心になって行います。限られた時間を使っての合唱祭ですが、毎年個性的な充実した内容の発表を披露してくれますので、今年度の発表も楽しみにしております。

（河邉）

卒業生による講演会

■進路指導部主催　高二生対象

○船越　健裕氏（十七期）
外務省・首席事務官
・平成十七年七月二日（土）
氏は、あの“9・11自爆テロ”の直前にワシントンに赴任したという。まさに緊迫した国際情勢の真只中にいるということである。生々しい話を、特に「日本外交」について熱く語っていただいた。限られた時間では語り尽くせないことを、簡にして明に。

■キャリアガイダンス　高二生対象

○町田　徹氏（十一期）
経済ジャーナリスト
・平成十七年十月十四日（金）
氏は、日本経済新聞に十八年勤務後、独立。投稿多数、近著に「日本郵便―解き放たれた巨人」（日経）がある。社会の歪みに対する筆鋒は鋭い。反して、後輩に向ける目は優しい。自らの生き様を赤裸々なまでに告白。だからこうならないよう、できうることを在学中に、と語る姿は熱い。

（勝部康）

■道徳の授業として　中一生対象

○山本　光平氏（七期）
株式会社テルミーソリューションズ社長、ディオス北千里専門店会会長
・平成十七年六月二十日（月）
氏は、様々な分野で幅広く活躍されている。今回は、ご自身の営業マン時代の体験、美容院経営について、釣りの分野で世界第二位の記録（カジキ）を打ち立てたことなど、常に前向きに生きることの大切さを熱く語られた。

（大中）

■課外授業として　高二・三生対象

○青野　伸氏（七期）
・平成十七年四月より毎週火曜日
第二・四限　ゴルフレッスン
氏は、自身の二十数年にわたるゴルフ歴を活かして、選択科目であるゴルフ授業において、丁寧に初級から指導されている。最初は全くボールすら当たらなかった生徒が、みるみるうちに上達し、終始笑顔の絶えない明るい授業が行われている。「卒業生と在校生のつながりの道」が出来た貴重な一歩であると評価している。

（桂田）

■進路指導部主催　高一生対象

○菊井　彩乃さん（三十八期）
（京大・法学部在学）
○神川　綾子さん（三十八期）
（大市大・医学部在学）
○唐井　聡さん（三十六期）
（大阪歯科大・歯学部在学）
・平成十七年六月二十五日（土）
高校在学中の勉強方法、進路決定の動機、大学生活について等の内容で、終了後には高一生からいくつも質問が出た。進路を考える大切な時期にある高一生にとって、大いに参考になるお話だった。

（池田）

先生方のご動静

平成十六年五月以降

就任／理事長　辻本　賢（学園）　17・4・1
昇格／事務局長　加藤　信明（本部）　17・4・1
新任／教諭　筒井　智子（国語）　17・4・1
永井　進（理科）　17・4・1
高原　正文（英語）　17・4・1
新任／常勤講師　佐々木　聡（国語）　17・4・1
御代田欣之（数学）　17・4・1
飛松　聡（数学）　17・4・1
吉村　幸司（数学）　17・4・1
井藤　吉紀（数学）　17・4・1
神田貴己江（保体）　17・4・1
渋谷　公次（保体）　17・4・1
新任／講師　大谷　明子（英語）　16・8・21
橋　敏昭（数学）　16・6・14
有本　亮現（数学）　16・10・1
高西　信明（書写）　16・10・1
浅野眞由美（書道）　17・4・1
竹村　企代（社会）　17・4・1
西本　清香（理科）　17・4・1
太田　準一（英語）　17・4・1
斉藤　容子（英語）　17・4・1
筒井　真理（英語）　17・4・1
福岡千恵子（音楽）　17・4・1
桂田　敏明（保体）　17・4・1
浅倉　真理（保体）　17・4・1
平野　成子（家庭）　17・4・1
大谷　雅子（司書教諭）　17・4・1
新任／非常勤職員　山野　孝義（サッカーコーチ）　16・7・1
荒木めぐみ（事務室）　16・8・20
萬野　博子（図書館）　16・8・20
退職／教諭　錦織　隆（数学）　16・9・30
高雄　新三（数学）　17・3・31
平賀　正男（理科）　17・3・31
篠宮　弘一（英語）　17・3・31
太田　準一（英語）　17・3・31
桂田　敏明（保体）　17・3・31
退職／講師　林　晃子（英語）　16・7・31
末　志保（書写）　16・9・30
奥田　稔（国語）　17・3・31
箕浦　尚美（国語）　17・3・31
藤井智恵子（書道）　17・3・31
橋　敏昭（数学）　17・3・31
有本　亮現（数学）　17・3・31
御代田欣之（数学）　17・3・31
井阪　明男（理科）　17・3・31
松本　均（英語）　17・3・31
松岡　恵美（英語）　17・3・31
馬場　裕樹（保体）　17・3・31
神田貴己江（保体）　17・3・31
八崎　杏里（音楽）　17・3・31
冨平　知子（家庭）　17・3・31
退職／非常勤職員　萬野　博子（図書館）　17・3・31

教育実習

平成19年度

◆実習時期　5月上旬及び6月中旬～7月上旬
予定申込期限　平成18年7月末
※必ず本人が来校し、教務に申し込んで下さい。

楽しいつどい

第18期生　S60・3卒

●同窓会
・平成17年8月6日　参加 23名
新校舎及び千里阪急ホテルにて古仲、畑中先生のご出席をいただきました。当日3時過ぎに学校に集合、古仲先生の案内で新校舎を見学、その後千里阪急ホテルへ移動し、楽しいひとときを過ごしました。

第27期生　H6・3卒

●同窓会（有志一同）
・平成17年11月12日　参加 約25名
大阪市西区『Aのテーブル』にて辻本、林吉、山内先生のご出席をいただき盛況でした。

●お知らせ●

第33期生　同窓会
・ホームカミングデイの後、開催します。
◆詳しくは、志和屋まで
hiroshiwa@hotmail.com

訃報

冨山敏郎先生
平成十六年九月二日ご逝去
昭和六十二年より七年間数学の専任教諭として在職されました。

尚友会会員
一期生　金川（旧姓横山）徳子さん
平成十六年十一月六日ご逝去
十一期生　坂口（旧姓井上）佳代子さん
平成十六年八月二十四日ご逝去
十二期生　光塚　将人さん
平成十七年二月六日ご逝去
三十一期生　長谷川　知英さん
平成十六年十二月二十日ご逝去

いまホームページを構築中です。

アドレス：http://www.show-you-kai.com/

尚友会について

尚友会（しょうゆうかい）とは私たち金蘭千里卒業生独自の新しい同窓会の名称です。

金蘭千里を卒業した私たち一人ひとりが、社会人となってからも学び続け、品位のそなわった人物となり、人の心の痛みがわかる、思いやりのある、そんな情緒力のある大人に成長できれば素晴らしいことだと考えます。

「尚友」の出典は「孟子一万章下編」の中の

以友天下之善士為未足、又尚論古之人、頌其詩、読其書、
不知其人、可乎、是以論其世、是尚友也、

から採ったもので、これは

（友達というものは類をもって集まるものであるが）天下での勝れた人物を友達としても、なおかつ満足できなければ、さらに昔にさかのぼって、古の聖人や賢人を論じて友達とするものだ。だが、いかにそれら古人の作った詩を吟じ、その著した書物を読んでも、その作者の人物像を知らないで、いったい良いものだろうか。だから、さらに進んでその古人の活動した時代を論究していかねばならぬ。これがつまり「尚友」、すなわち「さかのぼって古人を友達とする」

という意味です。

また、幕末の志士、吉田松陰の士規七則の第五にも

人古今に通ぜず、聖賢を師とせずんば、則ち鄙夫のみ、読書尚友は君子のことなり。

とあります。

さらに、尚には「尊ぶ」という意味もあり、「友達を大切にする」ということにも通じ、そんな大人の集団の同窓会でありたいという願いを込めて「尚友」を同窓会の名称といたしました。

40周年卒業生名簿作製のお詫び

昨年12月にご注文頂いた方の元に新しい名簿をお届けしました。

しかしながら、個人情報保護法の影響や当方の手配の不慮等のため、名前だけの掲載が多い見栄えの悪い同窓会名簿となってしまいました。これでは名簿としては・・・・など。厳しいお声をいただいております。ご期待に添えず、ご迷惑をお掛けしました事誠に申し訳ありません。

今後は名簿作成の意義も含め、あらゆる事を再検討いたしまして取り組んでいきたいと考えております。尚、当委員と無関係なものが、40周年名簿を再発刊するなどと、学校の名前を騙り出身大学、携帯電話番号等を聞き出そうとする悪質な電話があると耳にしております。当局は再発刊に関する活動は今の所一切しておりません。ご注意下さい。

何卒よろしくお願い致します。ここに誌面にてお詫び申し上げます。

尚友会事務局・名簿作製委員　一同

会計現状報告

平成 17 年 12 月 1 日　現在

種　　類	金　　額
学園分離時現預金（すでに振り込まれた年会費も含む）	6,220,403円
今年度　（在校生から徴収した分）	1,063,200円
合　　計	7,283,603円

以上の財産をもって、尚友会が発足いたしました。